

平成 27 年度 第 2 回 日本 NGO 連携無償資金協力  
「カンボジア農村地域における地域学習センター普及事業」  
(第 3 年次) 贈与契約署名式  
隈丸 優次大使 スピーチ  
2015 年 12 月 25 日 (金) 於：日本国大使館多目的ホール

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会  
カンボジア事務所 所長 玉利 清隆 様  
ご列席の皆様

本日、日本 NGO 連携無償資金協力案件である、シャンティ国際ボランティア会の「カンボジア農村地域における地域学習センター普及事業」第 3 年次の贈与契約署名式を開催することができ大変喜ばしく思います。

シャンティ国際ボランティア会は、過去 30 年以上にわたりカンボジアで様々な支援活動を展開されており、日本政府といたしましても、これまで緊密に連携・協力しています。シャンティ国際ボランティア会は教育及び人材育成分野を中心に活動されていると承知しております。今回のプロジェクトは地方における識字率向上や人々の生活の向上に大きく貢献するものと期待しております。

カンボジア教育・青少年・スポーツ省は、教育戦略計画のノン・フォーマル教育拡大プログラムにおいて、青少年及び成人に対する識字教育の充実を目標に掲げ、地域学習センターでの機能的な識字教育のための環境整備を目指しています。同省の今年の年次報告書にはシャンティ国際ボランティア会の本事業が成功例として紹介されました。また、同事業においては、日・カンボジア両国で 10 件以上にのぼる報道がなされました。

本事業の 1 年次及び 2 年次の実施により、3 州で 5 カ所の地域学習センター (CLC) が建設されました。それらの CLC では、物的支援だけでなく、教育省及び教育局とのネットワークを強化し、地域の人々を中心とした CLC 委員会へ運営指導を行い、事業完了後も自立運営が可能な仕組みが作られました。また、カンボジアの一般的な識字教室における参加者の平均出席率が約 20%~50% であるのに対し、本事業の CLC では既に識字教室を実施している 3 館の平均で 84% となっていると伺っております。

このたびの 3 年次においては、シェムリアップ州のタアン集合村にて新たな CLC 開設し、村民およそ 4,281 人を対象に識字教室や特に農業に関する知識を学ぶ機会が提供されることになると伺っております。2013 年のカンボジア人口センサスによると、事業対象地

であるシェムリアップ州の識字率は約67.4%で、全国平均の約69.7%未満に留まっています。この事業の実施により、識字率の向上が図られますことを切に期待いたします。

最後になりますが、日本NGO連携無償資金協力は日本のNGOが実施する草の根レベルに直接裨益する経済・社会開発事業に対して供与されるものです。本日署名した事業が対象地の人々に直接裨益し、また、行政関係者によるサポートの下、建設される地域学習センターが住民の方々に末永く大切にされ、十分活用されることを希望します。

ありがとうございました。